

対象サービス	項番	内容	回答
JAIRO Cloud	1	通信が軽く、使いやすくなる可能性はありますか。利用者に「この文献は公開されています」とご案内しても「重い、使いにくい、接続時間切れでダウンしてしまう」と学外から利用される名誉教授や学外者からのご相談が多く、不安を感じます。	パフォーマンス改善についても取り組んでおります。
JAIRO Cloud	2	セルフアーカイブに関する研究者が研究成果のリポジトリ登録有無を確認できる？といった機能について詳細に伺いたかった。	情報発信方法について検討してまいります。
JAIRO Cloud	3	研究者がリポジトリに“登録”した内容（特にコンテンツが研究データの場合）を、図書館員（職員）が勝手に修正して公開の“承認”を行う、というルーティーンは難しいような気がします。☒ 文言の問題かもしれませんが、研究者が“申請”した内容を図書館員が“確認”して公開、とするのが良いような気がします。OAの基本的な考え方は元々セルフアーカイブ（を、図書館員が代理登録している）という立て付けだったと思うので、ここで改めて図書館員による機関登録から研究者によるセルフアーカイブに移行する、というような表現は、あまり正確ではないと思います。これも文言の問題ですが。	表現については注意してまいります。
JAIRO Cloud	4	OAアシスト機能がとてもありがたいと思いました。今後、GakuninRDMからデータ連携されるということはGakuninRDMからもOAアシスト機能にアクセスできるようになるのでしょうか。教員がOAにするポリシーを確認する流れにも対応できるかと思いました。	ご指摘ありがとうございます。検討してまいります。
JAIRO Cloud	5	JICと学認RDMの連携について画面や連携方法等詳細が知りたい。	情報発信方法について検討してまいります。
JAIRO Cloud	6	リサーチマップとJCとの連携は行われる予定か？連携されない場合は、OA加速化事業で連携システムを開発したJC利用大学の機能を、全大学に適用できるような方法はないのか？	Researchmap連携機能については、開発を進めております。
JAIRO Cloud	7	研究者によるセルフアーカイビングと、図書館主導の提供依頼は、両立して行うものなのか、今後どちらか（というかセルフアーカイビング）をメインにしていく方向性があたりするのだろうか？ それとも、日本中の大学で研究者によるセルフアーカイビングが行われることが期待されているわけでもないのだろうか？ 研究者が、リポジトリに自分で（秘書さんなどのこともあると思いますが）登録する場合、入力方法などの説明はだけが主導して行うことが想定されているのだろうか？各機関ごとにどこかの担当部署（図書館、研究推進、情報のどこか）が説明資料を作ったり説明会を開催したりするのだろうか。 現時点では、上に書いたようなことが特にハッキリしているわけではなく、JAIRO Cloudに機能が用意されるから各大学で運用し、ユースケースを出して欲しい、という話なのだろうか？	機関により方針がまちまちであるということは把握しております。JPCOARと連携して情報収集できればと思います。
JAIRO Cloud	8	(1)不具合が多すぎる、基本的な機能に不具合が発生したまま、対策に長時間を要している、システムエラーの詳細がわからず自力対処できない、暴走したActivityを自力でKillできない(時間経過で消滅したりもしない)など、システムに根本的な問題があるので、速やかにWEKO4を開発し以降することを検討してほしい（それはそれでまた障害が発生してしまうか？）。(2)jpcoarスキーマv2.0に対応した（完全には対応していない）というようなわけのわからない状態は勘弁してほしい。(3)過去のアイテムタイプのメンテナンス（スキーマ変更時のマッピング対応など）が大変なので、登録済みのアイテムについてアイテムタイプの引っ越しができるような仕組みを導入してほしい。(4)これは主に政府の問題で、NIIはどちらかと言えば被害者だとは思いますが、OA加速化事業のような事業で適切にNIIに投資が集中するよう、政策を考えるような方々に説明してあげてほしい。事業として大変効率が悪いと思う。(5)これも事業が今年度限りであることが主要因なのでNIIのせいではないと思うが、大学でメタデータガイドラインに沿った開発をしたくても、JAIRO Cloud側が未対応で検証できず困っている。(6)RDMやOAアシスト機能からの連携アイテムタイプがデフォルトアイテムタイプ（フル）に限られているが、今後大学独自のアイテムタイプへの連携は可能となるだろうか。独自項目を作成したい大学もあると思う。また、(3)と同様に管理対象アイテムタイプの増加の問題もあると思う。	貴重なご意見ありがとうございます。頂いたご意見は開発や運営に反映していきます。
JAIRO Cloud	9	JAIROCloud WEKO IRDB DOI付与 それぞれマニュアルや画面がバラバラで、全てを通読して把握するに膨大な時間がかかります。中小の大学・図書館では到底対応できないレベルに達していると思います。（例えばアイテムタイプの編集、DOIの申請からガイドラインを把握してDOIを登録完了するまで）。先達者によるアドバイザー制度のようなものがあると助かります。	貴重なご意見ありがとうございます。JPCOARの作業部会とも連携して検討していきます。
JAIRO Cloud	10	JAIROクラウドに全てのデータを持たせるのはストレージ的に大丈夫なのか？また、一部限定公開も考えているため、本学ではJAIROクラウドにはデータのリンクだけ持たせたいと思っているが、実現可能か？	リンクをご利用いただくことも可能です。

JAIRO Cloud	11	現在のシステムでも不備がたくさんあり、リポジトリ登録もエラーが出るのではないかと、おそろおそろ触っている状況です。OA加速化に向けて、新しくシステムを構築していただけるとのことですが、WEKO3になってから不具合が多いため、まずはそちらを改善していただきたいです。	機関様の不安を払しょくできるよう、並行して問題修正も進めています。
JAIRO Cloud	12	research mapとの連携を開発中とのことでした。JAIRO cloudからresearch mapへのデータ入力が可能になると理解しましたが、逆に、research mapからJAIRO cloudへのデータ入力も実装していただけにでしょうか？	貴重なご意見ありがとうございます。頂いたご意見は開発に反映していきます。
JAIRO Cloud	13	1. OAアシスト機能を利用すれば、今後は、個々の大学でScopusやWebofScienceを購入しなくても、この機能から自機関の投稿情報の把握が可能となると考えていいのでしょうか？ 2. WEKO3の現状について、概ね良好なのか？全然だめなのか？や、何を問題と考えているのかなど、NIIさんの全体的な評価を教えてください。	1. 自機関の投稿権限の把握が容易に可能になる。Scopus、Web of Scienceで提供される機能とは収録書誌情報が異なる点にご注意ください。 2. 安定稼働については継続課題として、取り組んでおり、修正情報の適用をはやくする取り組みも検討中です。
JAIRO Cloud	14	Jairo Cloudはアップデートの度に新たなエラーを生じているように感じる。 リポジトリに登録する身としては、そのエラーがいつ直るのかという情報がないことは非常に不満である。 学内の研究者に説明がつかず、また、「オープンアクセスを推進する」ということにリアリティを感じてもらえない。	安定稼働については継続課題として取り組んでおり、安心してご利用いただけるサービスになるよう務めてまいります。
JAIRO Cloud	15	研究データの流通性を高めるために、図書館員がメタデータを修正した方がよいとのことですが、研究データの正しいメタデータの入力方法がわかりません。論文系でもどこに何をを入れるのかは各機関に任せられている部分が多いですが、モデルケースとして研究データのメタデータの入力方法を解説していただきたいです。	JPCOARと連携して検討していきます。
JAIRO Cloud	16	機関ストレージの接続の可能性	検討中です。
JAIRO Cloud	17	学認RDMとJairo Cloud間の連携仕様についてサポートサイトや説明会等の資料等だけでは判然としない部分が多いため、もっと詳細な予定や仕様がわかる資料を公開してほしい。	詳細な仕様について情報提供できるよう整理してまいります。
JAIRO Cloud	18	JairoCloudとGakuNinRDMの連携機能について公募されているところですが、こちらは研究者の方へご協力いただくことなく、図書館職員のみで動きを試すという運用でも良いのでしょうか。（研究データの登録件数自体が少なく、登録する研究者の方があまりいないため）	はい
JAIRO Cloud	19	図書館の負担を考え、セルフアーカイブに移行するという方針ですが、現在のUIのままセルフアーカイブを促進するのはかなり無理があると思います。図書館員でも苦戦しており、トラブル解消にとんでもなく手がかかることになると予想します。	はい。UIもそうですし、JPCOARスキーマも複雑です。簡易的な登録を検討しています。
JAIRO Cloud	20	聞き逃していたら申し訳ありませんが、OAアシストとWEKO3の連携機能はできるようになったのでしょうか？1ヶ月経ちましたが、メールでのご案内がなかったような気がしましたのでお尋ねする次第です。いつ頃解消されるのか、見直しをご教示頂けますと幸いです。	はい、修正に時間がかかってしまいましたが、接続できますので、ご試用いただけますと幸いです。
JAIRO Cloud	21	OA加速化事業の全費用を投入してでも、一日も早く不具合を解消することが必要ではないでしょうか。☒ リポジトリでありながら、データが消える、書き換わる、全データのバックアップが取れない、統計がおかしくなる、というのは、もはやリポジトリとしての機能を果たしていません。システムを信頼できません。☒ 一括インポートも、著者データベースも、何もかもが不具合だらけ、問い合わせ受付はメールのみで回答は遅く、1ヶ月以上放置されることもあり、業務にかなりの支障が出ています。一般の製品であれば、賠償案件だと思います。☒ もう何年も不具合状態が続いていますが、終わりはくるのでしょうか。☒ その場対処的なことではなく、大きなお金を投入して、根本的な解決をお願いしたいです。☒ ☒ ここで言っても仕方がないとは思いますが、拡張機能の説明を受ける度に、まずは基本的な部分が、きちんと正しく機能する状態にすることが先決だろうに、と毎回考えてしまいます。	不具合修正も継続しております。開発とリリース時期が大幅にずれることによる問題も把握しております。改善に向けて努力している状況です。
JAIRO Cloud	22	NIIのJAIRO Cloudの概要は理解できていますが、OAを導入した時の詳細な流れの説明を希望するところです。	OAアシスト機能からの図書館への通知 → 登録対象論文の特定 → 本文の取得（研究者への依頼） → 登録作業という流れになるかと思います。
JAIRO Cloud	23	フィードバックメールを毎月1日にコンテンツ提供者へ送っているが、10月1日と11月1日の送信分で全コンテンツが利用0回と表示された。原因は9月のメンテナンスだったようだが、この問題が解消されるのは2025年以降なのか。	問題の解消に向けて改修を進めていますが、リリース時期については未定となっております。確定次第アナウンスをしてまいります。
JAIRO Cloud	24	研究者から機関リポジトリへ著者最終稿登録も、将来的には研究者自身がセルフアーカイビングすることを想定されていますか？現状としては、個々の研究者にアカウントは発行せず、図書館職員が代理登録しているケースが多いかと思いますが、JCと認証を連携、GRDMとのアカウントも統一し、研究者自身がGRDMとJCに登録できるようにすることも可能かと思いました。	はい。機関の運用にもよるとは思いますが、そのような将来像をイメージしています。
JAIRO Cloud	25	今後のアップデート、及びJPCOARスキーマversion 2.0への対応について	情報が確定次第アナウンスをしてまいります。

JAIRO Cloud	26	update後のメタデータの一部分表示含む、不具合が解消される日程や明確な説明がほしい。	現在、できるだけ早く修正環境を提供できるようNIIにてテストを実施しています。状況確定次第アナウンスをしてまいります。
-------------	----	--	---